

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道扁平上皮癌における F O L F O X 療法および放射線併用 F O L F O X 療法の有効性と安全性を探索する後方視的観察研究
	研究目的	本邦において食道扁平上皮癌に対する標準的な薬物療法は FP 療法（フルオロウラシル+シスプラチン）であり、周術期治療、進行再発例に対する緩和的化学療法、化学放射線療法など種類を問わず広く汎用されています。FP 療法以外の選択肢として、本邦では、2019 年に FOLFOX 療法（フルオロウラシル/レボホリナート+オキサリプラチン）が保険診療下で使用可能となり治療選択肢が広がりました。しかし、本邦の食道扁平上皮癌患者を対象とした FOLFOX 療法に関する有効性と安全性に関するデータはありません。本研究は多施設共同で FOLFOX のデータを収集し有効性および安全性を評価することを目的として計画されました。
	研究対象者	2019 年 4 月 22 日から 2020 年 10 月 31 日までに当院で FOLFOX 単独療法または FOLFOX 併用化学放射線療法を受けた患者さんが対象となります。
	研究期間	西 暦 2 0 2 1 年 1 2 月 1 3 日 ~ 西 暦 2 0 2 1 年 1 2 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	消化器内科・消化管 町田望
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・消化管
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	九州大学病院・土橋賢司 慶應義塾大学病院・平田賢郎 愛知県がんセンター・松原裕樹 石川県立中央病院・木藤陽介 茨城県立中央病院・菅谷明德 神奈川県立がんセンター・古田光寛 がん研有明病院・下寄啓太郎 関西医科大学附属病院・朴将源 近畿大学・三谷誠一郎 神戸市立医療センター中央市民病院・松本俊彦 国立がん研究センター中央病院・山本駿 埼玉県立がんセンター・高橋直樹 筑波大学・山本祥之 東京慈恵医科大学付属病院・西村尚 斗南病院・高山歳三 姫路赤十字病院・筑木隆雄 大分大学・小森梓